

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年2月9日

会社名 東邦建株式会社

(JASDAQ・コード番号：1990)

(URL <http://www.tohoken.co.jp>)

代表者役職名 代表取締役社長

氏名 原 昭 史

問い合わせ先 責任者役職名 執行役員経理部長

氏名 宮 城 紀 喜

Tel : (0283) 24-5556 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

②最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(記載金額は、百万円未満切り捨て表示)

	完成工事高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	6,182	(25.2)	△23	(-)	10	(-)	△0	(-)
18年3月期第3四半期	4,938	(△0.5)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考) 18年3月期	7,652		11		52		△58	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	△0 16	-
18年3月期第3四半期	-	-
(参考) 18年3月期	△10 01	-

(注) 1. 完成工事高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 平成19年3月期より四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、完成工事高を除き、前年同四半期および増減率については記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失が計上されているため、記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期の業績は、通信線路部門においてBフレッツのエリア拡大に伴い、NTT関連工事の受注が好調に推移し、受注高7,108百万円(前年同期比18.5%増)、完成工事高6,182百万円(同25.2%増)、経常利益10百万円、四半期純損失0百万円となりました。

なお、当社の事業の形態として、完成工事高の計上が事業年度末である第4四半期(1月～3月)に増加する傾向にあります。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	4,781	2,971	62.2	509 17
18年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考) 18年3月期	5,126	3,015	58.8	516 57

(注) 平成19年3月期より四半期財務・業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期については記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、4,781百万円となり、前事業年度末と比較して345百万円減少いたしました。資産の部における増減の主なものは、未成工事支出金の増加482百万円、現金及び預金の減少232百万円、完成工事未収入金の減少598百万円であります。また、負債の部における増減の主なものは、工事未払金の減少362百万円、未成工事受入金の増加74百万円であります。

当第3四半期末の純資産は、2,971百万円となり、前事業年度末と比較して43百万円減少いたしました。増減の主なものは、利益剰余金の減少30百万円であります。

○添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、四半期部門別受注高・完成工事高・受注残高

以 上

[参 考]

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

現時点では、平成18年11月14日付の平成19年3月期中間決算短信(非連結)で発表いたしました平成19年3月期の業績予想に変更はありません。

## 1. (要約)四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期末)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
現金預金	199,128		431,689	
受取手形	76,984		70,395	
完成工事未収入金	829,918		1,428,736	
未成工事支出金	843,999		361,179	
その他のたな卸資産	20,065		10,686	
繰延税金資産	52,968		46,129	
その他	85,671		95,431	
流動資産合計	2,108,736	44.1	2,444,249	47.7
II 固定資産				
有形固定資産	2,212,543	46.3	2,224,537	43.4
建物	310,169		324,273	
土地	1,836,952		1,836,952	
その他	65,421		63,311	
無形固定資産	1,073	0.0	1,191	0.0
投資その他の資産	458,993	9.6	456,896	8.9
投資有価証券	157,160		179,627	
繰延税金資産	200,946		193,688	
その他	239,346		223,640	
貸倒引当金	△138,460		△140,060	
固定資産合計	2,672,610	55.9	2,682,624	52.3
資産合計	4,781,347	100.0	5,126,874	100.0

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期末)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
I流動負債				
工事未払金	758,388		1,120,510	
短期借入金	40,000		40,000	
未払金	11,894		21,412	
未払法人税等	16,407		6,765	
未成工事受入金	122,955		48,331	
工事損失引当金	68,615		32,561	
賞与引当金	46,301		62,113	
その他	49,446		46,011	
流動負債合計	1,114,009	23.3	1,377,706	26.9
II固定負債				
長期借入金	40,000		70,000	
退職給付引当金	467,244		453,674	
役員退職慰労引当金	31,940		50,020	
再評価に係る繰延税金負債	145,243		145,243	
その他	11,001		14,534	
固定負債合計	695,428	14.5	733,472	14.3
負債合計	1,809,438	37.8	2,111,178	41.2
(資本の部)				
I資本金	—	—	817,926	15.9
II資本剰余金	—	—	667,984	13.0
III利益剰余金	—	—	2,034,401	39.7
IV土地再評価差額金	—	—	△517,734	△10.1
Vその他有価証券評価差額金	—	—	44,454	0.9
VI自己株式	—	—	△31,336	△0.6
資本合計	—	—	3,015,695	58.8
負債・資本合計	—	—	5,126,874	100.0

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期末)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(純資産の部)		%		%
I株主資本				
1資本金	817,926	17.1	—	—
2資本剰余金	667,984	14.0	—	—
3利益剰余金	2,004,259	41.9	—	—
4自己株式	△31,599	△0.7	—	—
株主資本合計	3,458,570	72.3	—	—
II評価・換算差額等				
1その他有価証券評価差額金	31,073	0.7	—	—
2土地再評価差額金	△517,734	△10.8	—	—
評価・換算差額等合計	△486,661	△10.1	—	—
純資産合計	2,971,909	62.2	—	—
負債・純資産合計	4,781,347	100.0	—	—

2. (要約)四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期第3四半期)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
I 完 成 工 事 高	6,182,395	100.0	7,652,349	100.0
II 完 成 工 事 原 価	5,965,321	96.5	7,325,976	95.7
完成工事総利益	217,074	3.5	326,373	4.3
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	240,768	3.9	314,796	4.1
営業利益又は営業損失(△)	△23,694	△0.4	11,576	0.2
IV 営 業 外 収 益	35,775	0.6	46,625	0.6
V 営 業 外 費 用	1,973	0.0	6,081	0.1
経 常 利 益	10,107	0.2	52,120	0.7
VI 特 別 利 益	1,600	0.0	6,755	0.1
VII 特 別 損 失	391	0.0	141,114	1.9
税引前四半期純利益又は 税引前当期純損失(△)	11,316	0.2	△82,239	△1.1
法人税、住民税及び事業税	17,279	0.3	19,897	0.3
過年度法人税等	—	—	13,249	0.2
法人税等調整額	△5,010	△0.1	△56,930	△0.8
四半期(当期)純損失	952	△0.0	58,456	△0.8

### 3. 四半期部門別受注高・完成工事高・受注残高

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別		平成19年3月期 第3四半期		平成18年3月期 第3四半期		比較増減	増減率
前期繰越高	通信線路部門	536	(58.7%)	265	(47.3%)	271	102.3%
	土木部門	241	(26.4%)	197	(35.1%)	44	22.3%
	E & E 部門	—	(—)	6	(1.2%)	—	—
	I P 部門	105	(11.5%)	10	(1.9%)	95	950.0%
	モバイル部門	31	(3.4%)	81	(14.5%)	△ 50	△ 61.7%
	計	914	(100.0%)	561	(100.0%)	353	62.9%
受注高	通信線路部門	5,489	(77.2%)	4,275	(71.2%)	1,214	28.4%
	土木部門	593	(8.4%)	597	(10.0%)	△ 4	△ 0.7%
	E & E 部門	—	(—)	168	(2.8%)	—	—
	I P 部門	320	(4.5%)	322	(5.4%)	△ 2	△ 0.6%
	モバイル部門	705	(9.9%)	636	(10.6%)	69	10.8%
	計	7,108	(100.0%)	6,000	(100.0%)	1,108	18.5%
完成工事高	通信線路部門	4,883	(79.0%)	3,774	(76.4%)	1,109	29.4%
	土木部門	337	(5.5%)	251	(5.1%)	86	34.3%
	E & E 部門	—	(—)	127	(2.6%)	—	—
	I P 部門	329	(5.3%)	222	(4.5%)	107	48.2%
	モバイル部門	632	(10.2%)	561	(11.4%)	71	12.7%
	計	6,182	(100.0%)	4,938	(100.0%)	1,244	25.2%
受注残高	通信線路部門	1,143	(62.1%)	765	(47.2%)	378	49.4%
	土木部門	497	(27.0%)	542	(33.4%)	△ 45	△ 8.3%
	E & E 部門	—	(—)	47	(2.9%)	—	—
	I P 部門	95	(5.2%)	110	(6.8%)	△ 15	△ 13.6%
	モバイル部門	104	(5.7%)	156	(9.7%)	△ 52	△ 33.3%
	計	1,841	(100.0%)	1,623	(100.0%)	218	13.4%

(注) 1. ( ) 内のパーセント表示は、構成比率であります。

2. E&E部門は平成19年3月期より土木部門、I P部門およびモバイル部門に統合いたしました。